

# 日本東京神殿の再奉献日程を発表

—42年ぶりのオープンハウスで東京神殿内部が一般公開へ—

**日** 本東京神殿のオープンハウス、再奉献の日程が、2022年3月23日付けの大管長会からの手紙で発表された。

一般オープンハウスは2022年6月3日(金)から6月18日(土)まで(6月5日および12日の日曜日を除く)。それに先立ち、5月30日(月)には報道関係者オープンハウス、5月31日(火)から6月2日(木)には招待客オープンハウスが行われる。

再奉献式は、2022年7月3日(日)に、午前9時、正午、午後3時の3セッションが行われる。これらは大管長会第二顧問ヘンリー・B・アイリング管長の管理の下で、東京神殿地区のすべてのユニットへ放送される。アイリング管長は、

「日本に大いなる日が訪れる……大きな変化が、会員の周りではなく、会員の中に起きる」と2003年4月の総大会で語った預言者である。<sup>※1</sup>

東京神殿は1980年、世界では18番目、アジアにおいては歴史的な最初の神殿として建設、奉献された。歴史の深い有栖川記念公園の向かいに位置し、その美しさと神聖さゆえに、多くの人から愛されてきた。37年間の稼働を経た2017年9月30日、内部、外部、別館の改築を含む大幅な改築のために閉館した。現在、世界中で稼働中、建設中、あるいは建設が発表された神殿の総数は265で、この中には福岡神殿と札幌神殿、また竣工間近の沖縄神殿が含まれる。日本国内のこ



日本東京神殿

竹中工務店は、東京神殿一連の改装・別館建築工事においてすぐれた安全衛生措置を行ったとして、令和3年に、建築業界では権威の高い厚生労働大臣表彰を受けている。そのような優れた技術と配慮により東京神殿の改装が行われたことに関係者一同は感謝している。

アジア北地域会長会会長の和田貴志長老は、「コロナ感染症予防のために長らく再奉献とオープンハウスが延期されてきましたが、ようやく多くのご友人の方々、近隣の方々、会員の皆様を東京神殿にお迎えできるようになり、この特別な機会を心から楽しみにしています。神殿は、神様と自分との関係を強め、先祖と子孫を結び、家族のきずなを強める平安な場所です。是非、多くの皆様においでいただき、その平安を感じていただけるよう願っています」と述べている。◆

れら4つの神殿は各管轄区に分けられ、現在国内261の集会所に集う13万人以上の日本の教会員にとって、神聖で特別な場所となっている。

今回のオープンハウスは、1980年の開館以来42年ぶりに、一般の方々を神殿内に迎え入れ、見学していただける特別な機会となる。

一般オープンハウスへ参加するには、公式ウェブサイト(誌面右下リンク)から日時予約を行う。このサイトにはまた、神殿とは何か、オープンハウスの詳細、教会の信条、特別講演コンテンツなどが掲載されており、教会員でない友人や家族へ紹介するのに最適な構成となっている。

今回の改装工事を請け負った株式会社



東京神殿再奉献公式ウェブサイト  
[tokyojapantemple.jp](http://tokyojapantemple.jp)

※1—「子供および弟子として」ヘンリー・B・アイリング「リアホナ」2003年5月号、32参照



# ユースミュージック 2022 アルバム曲を公開

—若い世代の信仰生活を応援する日本語版12曲、夏のfsyにおける活用も視野に—

毎年、若い世代の実感に即した歌詞と楽曲を提供して信仰生活を応援する「ユース・ミュージック」。2022年の全アルバム曲がこの5月、リリースされた。夏のfsy2022でも大いに活用される見込みである。

今年の青少年のテーマは、「主を信頼する」(箴言3:5-6)。テーマ曲“Trust in the Lord”-主を信じて-の日本語版ミュージックビデオは3月の時点ですでに先行リリースされていたが、今回すべての2022年の楽曲が出そろった。

- “Dust” - 立ち上がり -
- “Serve the Lord” - いつまでも主と -
- “Light My Way” - 道照らして -
- “Divine” - おくりもの -
- “I Surrender” - もうだめだ -
- “Healer” - 癒し人 -
- “Look to You - 主のほうへ -
- “I Need Him” - 導いて -
- “Possible with Him” - 主がいれば -
- “Speak to Me” - 聞かせて -
- “Send Me” - ささげたい -

楽曲のダウンロードはこちらから!

<https://bit.ly/3Kaw26l>



しっとりした曲から軽快な曲、リズムに乗って身体が動き出しそうな曲までバラエティに富んでいる。すべての曲の音楽ファイル(MP3)や楽譜はダウンロードしてスマホなどに入れられる。福音ライブラリーとチャーチ・ミュージックの各アプリでも再生できる。動画 SNS の YouTube にもプレイリスト\*1が準備されている。

新型コロナ下でのレコーディングも今年で2回目となり、音楽監督の田代志帆姉妹在住の熊本と遠隔地のスタジオをオンラインで結んで収録するスタイルがすっかり確立した。東京、大阪、熊本のスタジオ

にて延べ8日かけて収録した。例年よりもシンガーへの応募が多く、スタッフは、ユースミュージックが若い人の中で浸透しつつあるとの手応えを感じた。また、オーディションで選ばれた人に加え、神戸伝道部の全面協力により、長老宣教師と帰還宣教師たちが収録に参加している。

田代姉妹はこう語る。「今年のテーマソングは、英語版のシンガーが、低音を響かせるような声でした。毎年、不思議とピタッと合う声の子がいっぱいなんです。神様がきちんと備えてくださっていると感じます。(応募者は)みんな一人一人、違う個性を持った素敵な声をしています。それを壊さず生かすように気をつけながら収録しました。皆、神様の大切な子供で、一人一人に与えられた賜物があって、それが同じじゃないというのはすごく素敵だと思いましたね。それぞれメッセージ性のある曲なので、声の雰囲気や個性と一緒に感じていただきたいです。」◆



どんな人生を生きるのか——誰もが自分に問いかけたことがあるだろう。ましてや進学や就職を控えた若い世代にとっては切実なテーマである。

この夏、2020年に予定されるも新型コロナウイルス下で延期となったfsyが開催される。そこでは「自らの未来を築く」ことについて考える場もある。fsy2022に寄せて、日本とアメリカの教育界で活躍する人生の先輩から、若い世代への提言をいただいた。(編集室)

## United States of America

### テンプレ大学日本校 学長 マシュー・J・ウィルソン兄弟

マシュー・ウィルソン兄弟がこれまで大学運営で大事にしてきたことは、「学生ファースト」。その行動はユニークだ。テンプレ大学日本校の学長が、毎月、学校の前で学生に声をかけながら食べ物を渡す。2月はバレンタインにちなんで、妻の典子姉妹と一緒にチョコパンを配った。学生と一緒にバスケットボールも楽しむ。驚くことに、自分の携帯番号を書いた名刺を全員に配り、「いつでも、何でも」電話をするようにと伝えている。どこに相談したらいいのか困らないようにとの配慮だ。「今日も、病気で試験を受けられずに困っている学生から電話がきました。とても焦っていましたね。誰が解決できるのかを伝えて、電話を回すことができました。」学生の心身の健康に心をかけながら、良い教育を提供するよう努める。大学の教職員にもそのように指導している。

「自分の成功よりも、他の人のことを考えるということは、ずっと教会で学んできました。これを仕事でも実践しています。仕事ではなく、人に対して奉仕している感じですね。お金が目的ではありません。」ウィルソン兄弟が願う学生の成功とは、卒業に至る学生が30%ということも珍しくないアメリカの大学で、まずきちんと卒業できること。学生が乗り越えなければな



らない壁はいくつもある。最後まで頑張りが続けられるように、金銭的なフォローや直面する困りごとが解決できるよう助ける。第2に、学生が自分の好きな仕事を見つけて夢がかなうこと。「それができれば学校として大満足」だという。「お金も必要ですが、お金を目標にすることで幸せにはなれないと思います。仕事が好きでなければ、長い間続けていけませんよね。」

経営困難に陥っていた大学に赴任したときには、「前学長と同じ給料はいりません」と申し出て、歴代の学長が住む豪邸には住まず、豪邸を売却してそのお金を学生の奨学金に充てるということを実現させた。一貫した「学生ファースト」の姿勢で困難を切り抜け、成功も重ねてきた。

### 好きなことを見つけていく 努力とサポート

ウィルソン兄弟が弁護士になろうと決意したのは9歳のときだ。父親も弁護士だったが、母と共に子供6人を育てながら、いつも周りの人のことを一生懸命助けていた。父親と行動を共にすることも多く、そこで人を助けるという感覚を学んだという。隣家に住む女性からは、「マット

(マシューの愛称)は話をする才能があるわね。弁護士は人をよく助けられる。人を助けた方がいいわね」と言われ、弁護士という仕事が、自分の強みや望みにつながることに気づかせてもらった。

ウィルソン兄弟には現在、8歳を筆頭に5人の孫がいる。「ことあるごとに、何が好き？ どういうことが好き？ 何になりたいの？」と聞いています。何度も聞いてみると、考え始めるんですよ。イメージもついてきます。」早すぎることはない。隣家の人が自分にしてくれたように、孫たちにも声をかける。

好きなことがまったく分からない人に対してはこう助言する。「いろいろな人の仕事を見て、どんな仕事なのか、なぜその仕事が好きなのか尋ねたり、調べるのが大事です。そして、自分の才能に合った仕事を調べてください。才能が何か分からなければ、家族や友人に聞いてみる。そして、才能がどのような仕事につながっていくのか調べてください。」ウィルソン兄弟は、大学で科目を選択するときには、できるだけ幅広く選択して勉強するようにと勧める。そうすれば、新たな才能や関心を見いだせるかもしれない。現在、どんな仕

## Build Your Future —— 未来を築く

事が主流なのかも調べた方がいい。「今SNSが大好きな学生はたくさんいますが、『SNSに関連する仕事について考えたことがありますか』と尋ねると、よく知らないという答えが返ってきます。」好きなことがどんな仕事につながっていくのか、よく調べる。アメリカの場合、学生が途中で専攻を変更する回数は平均2.5回。「娘はもう4~5回、専攻を変えていますよ。」ウィルソン兄弟は嬉しそうに語る。教育制度の違いがあるとはいえ、本当に好きなことを見いだすには相応の努力が必要だ。「日本の学生は、職業というより、どの会社で働きたいかという希望が多いように思いますね。アメリカ人はなりたい職業について考えます。高校生の8割くらいが、将来なりたい職業についても答えていますね。」

### 今している仕事をしっかりやれば 次のステップにつながる

生涯で17~18回もの転職とキャリアの積み重ね、3回目の学長。どのような経緯をたどってそうなったのだろうか。

2004年にテンプル大学日本校の准教授として来日したとき、ウィルソン兄弟は新しいプログラムの担当者も任された。「自分に与えられた仕事をできるだけ頑張って、成功させたいと思っていました。」その企画は成功を取め、学生数も増加した。上司から「マットは絶対、将来学長になりますね」と言われた。

5年後、テンプル大学日本校を退職、アメリカに帰国しワイオミング州に移った。息子のジェームズは早くからピアノの才能を開花させ、5歳でアメリカの国際コンクールに参加して3位に入賞するが、日本ではいい先生を見つけられずにいた。彼に良い教育を受けさせたい、この目的のために帰国を決意したのだった。

ウィルソン兄弟はワイオミング大学ロースクールの教授として就職する。ここでも大きな成果を上げ、アメリカに戻って2年を待たず副学部長に就任する。「今の仕事をしっかりやっていると、ある段階まで成長する。そうすると、そういう人材がほしいと声がかかってくる

んですよ。」ジェームズのピアノは評価され、イタリアやフランスの国際コンクールでも入賞、カーネギーホール※1でのコンサートも実現した。ピショップの召しを果たしながらの順風満帆な日々の中で、しかし、ウィルソン兄弟の心には「この土地を離れて、引っ越す必要がある」という思いが徐々に膨らんできた。典子姉妹も同じ思いだった。いろいろ調べた末、声をかけられていたオハイオ州のアクロン大学に学長として赴任する段取りとなる。

### 神様が手を取って歩いた道のり

早速、家族は住む家を探すためにオハイオ州に飛んだ。祈りの中で指定された街で探したが、なかなか良い物件が見つからない。妥協して1軒の家を購入した。ところがワイオミングに帰る前日、家族でレストランに入ると、ジェームズが突然腹痛を訴え始める。神権の祝福によりいったん症状は治まったものの、自宅に戻った翌日にぶり返した。隣のコロラド州で受診をすると、腹部にがんの疑いがあると言われる。検査結果を待つ10日間、心配ばかりが膨らみ、繰り返し祈る苦しい時期を過ごした。3週間後にはオハイオでの



オハイオ州アクロン大学のプラスバンドとチアリーダー。中央がウィルソン学長



ピアノの前のジェームズ君



オハイオ州の病院に入院中のジェームズ君

仕事が始まる。しかも購入した家は問題があって、解約。「ジェームズは助かるのか。がんだとして、ここには大きな病院がない。コロラド州まで2時間半かけて通うとしても、冬場は雪が多くて道は通れない。ジェームズは途中で死んでしまうのではないか。果たしてオハイオには行けるのか。オハイオには知っている人もいなければ、住む家もない。」検査結果は、がんとの診断。翌日から治療に来るようになると言われた。治療は1年以上継続し、何回か手術もしなければいけない。週ごとの検査もある。オハイオ州アクロンでの新しい仕事は1週間後に迫っていた。

いよいよ切羽詰まったウィルソン兄弟は、医師に一部始終を話し、「毎日お祈りしているがどうすればいいのかわからない」と助言を求めた。ウィルソン兄弟を熱心なクリスチャンと見てとった医師は、「霊的な話をしてもいいですか?」と前置きして、「オハイオへ行くべきだと思います」と不思議な巡り合わせを語り始める。—その医師は1年半前にオハイオからコロラドに移ってきて、オハイオの状況をよく知っていた。オハイオにはジェームズが患った珍しいがんの専門病院があり、親友がそ

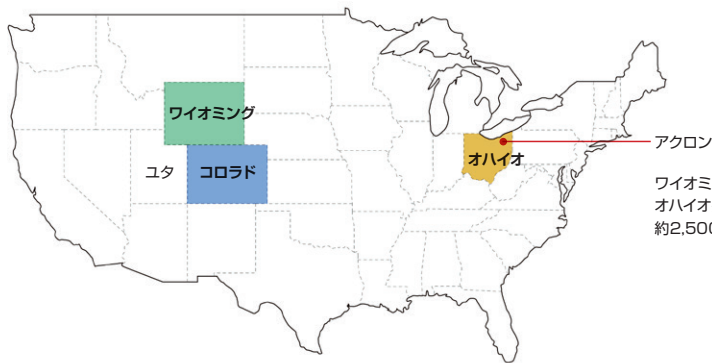


ここで医師をしていた。そればかりか、医師の指導医である外科医が半年前にオハイオに転勤していたのだ。「二人がジェームズの担当医になるはずです。」引っ越し先での友人、理解者、助け手……その後も次々に明らかにされる、備えられた主の救いの全貌に、圧倒されるばかりだった。

「オハイオに行くというのは、偶然ではなかったんです。それはわたしのキャリアのためではなかった。息子のがんの治療のために、息子の命を救うために、主が道を作ってくれたんです。」ジェームズは健康を回復し、ウィルソン兄弟は経営困難に陥っていた大学を立て直すことに貢献する。ワイオミングに戻ったこと、オハイオに行くこともすべて神様が手を取って歩いてくれた道のりだったのだ。

### 主に連れられて色々な場所に

「自分で住みたいと思った場所に住んだことも、働きたいと思った場所で働いたことも、ほとんどないですね。もし自分でしたい仕事を求めているなら、違う場所で働いていたと思います」とウィルソン兄弟。テンプル大学日本校に戻るとき、母親は「マットは日本が好きだから、日本に行く



んだね」とほそっと言った。ウィルソン兄弟はミズーリ・ウェスタン州立大学の学長になったばかりで、しかもコロナ禍の真只中、辞職して引っ越すことにはあまり乗り気ではなかった。しかし一生懸命祈っていると、「日本に戻ったらすぐビショップになるんじゃないか」という思いが浮かんできたという。なぜこんなことを思ったのか不思議だった。「でも何かの目的があって神様が語られているので、きっと誰かを助けたいといけな。」主の期待に応えたいと思った。——そして2020年8月に再来日。9月にテンプル大学日本校の学長に就任する。コロナのため、吉祥寺の教会でビショップに会えたのは11月だった。ビショップはウィルソン兄弟に、伝道主任になってほしいと告げる。「ビショップになるという思いは勘違いだったのか。」拍子抜けと安堵の思いが交錯したが、宣教師の数はずいぶん減っており、「伝道や学生のサポートをするのが自分の役割」と気持ちを引き締めた。しかし、2週間を経ないうちにステーキ会長から連絡があり、予め示されていたビショップの召しについての話を受けたのだった。

### 人を助けられるのが自分の幸せ

人を助ける仕事に就きたいと願って選んだ弁護士の道。今では弁護士、教育者、学校経営者として活躍するウィルソン兄弟。「人を助けられることが、わたしにとって一番幸せなことです。助けられなかったとき、失敗したという感覚になります。」だから努力をする。うまくいなくても、そこから学んで、何度でも立ち上がっていく。

好きなことを仕事とし、夢を達成していくにあたって、「経済的なことや能力がないという理由であきらめないでほしい」と語りかける。留学生も減り、グローバル化の遅れが否めない日本。ウィルソン兄弟が学長を務めたオハイオ州の大学で、日本人留学生は22,000人の学生中5人、ミズーリ州では6,000人中3人だった。「お金や能力の問題は、神様や周りの人が助けてくれます。道は備えられています！能力が足りないと思えば、恥づかしがらずに人に尋ねたり、助けを求めることが大事です。」「すぐに聞きに来てください。助けを求めてください。」ウィルソン兄弟は今日も、携帯電話を握って、人々が扉を叩いてくれるのを待っている。◆

## JAPAN

### 国立大学法人 静岡大学 学長

ひづめ かずゆき  
日詰 一幸 兄弟

### 社会を経験することで、何をやりたいか方向性が見えてくる

日詰兄弟は長野で生まれ、16歳で改宗した。教会で、教育を受けることの重要性を教わってきたものの、はっきりとした将来設計があったわけではない。工業高等専門学校で土

木工学を学び、1976年に卒業した後は国家公務員として建設省の仕事に就いた。転職は、就職して6年たった頃に訪れる。

「仕事をする中で勉強の足りなさを痛切に感じることもあり、『知識があれば、もっとより良い仕事ができただろうか』、やっていることを深めていきたいという思いが生じてきました。特に、政策決定のプロセスを間近で見ていたので、一つの物事にどのような力が働いて進んでいくのか、決定していくのかを深く学びたい



静岡大学浜松キャンパス  
Photo by Jfr0595 from Wikipedia

と思いました。」自分の将来を考えるにつれ、「勉強しなければ満足のいく仕事ができない。もっと自分自身を高めなければいけない」との思いが募って一念発起、すでに結婚もしていたが、退職をして大学・大学院で学び直そうと決意した。

「若いときにはやりたいことがおぼろげにあったとしても、自分自身で将来を決めることは難しい。わたしの場合、社会のものを経験して知識の不足を痛切に感じ、仕事をしながら何がやりたいのか方向性が固まってきました。『行政』が軸でしたね。」公務員という現場の経験を基に、研究者になるという将来像が見えてきた。

### 主の手のひらの上で 積み上げられてきたキャリア

日詰兄弟は名古屋大学法学部に編入学、その後大学院に進学し、地方自治や都市政策について学びを深めた。そして、指導教員から受けた、「日本と外国との比較をして、研究の幅を広げることも大事なことだよ」との助言により、研究者としてのキャリアを歩み始める。

社会情勢に関心の深い日詰兄弟は当時、革新自治体の体制が高度成長で起きたひずみをどう乗り越えていくかを注視していた。「アメリカにも、似たような改革に取り組んでいる自治体があるのではないか」「世界的大都市であるニューヨークで、1975年の財政破綻はなぜ起きたのだろう」との問題意識を持ち、ニューヨークの市政分析に取り組み、論文をまとめた。

1991年1月、博士課程2年が終わりに近づいた頃、いつも気にかけてくれていた教員から「(他の大学で)憲法や政治学を教える教員の公募があるが、どうか」と勧められて応募する。大勢の応募者の中からわずか1票差で採用が決まったと知っ

た。「大変ラッキーでした。神様の助けがありました。年齢も年齢なので、機会があれば早く就職した方がいいと思っていましたから。」1年を残して博士課程を中退し、就職すると決めた。指導教員からは「君の選択は正しかったね」とねぎらわれ、路頭に迷う可能性もあった最初の選択を主が様々な形で助けてくださったことを思い返し、涙が込み上げた。

5年後の1996年には静岡大学で、行政学の教員の公募があり、応募・採用されて



赴任、静岡市に居を構える。幅広いフィールドを開拓し、地方自治や市民参加について研究を進めてきた。同年、人文学部法学科助教授となり、2000年に教授に就任する。日詰兄弟は教会の奉仕にも熱心に取り組んだ。静岡ステーキ会長として9年間務め終えた2016年、解任された直後のタイミングで学部長に選ばれる。そして4年後の2021年、静岡大学の第16代学長に就任する。「すべて主の手のひらの上で行われてきたように思います。」日詰兄弟は半生をこう振り返る。

### 教会での学びが 学問や仕事のベースとなる

学長になってからの1年間は「濃密な時

間」だった。ちょうど大学の将来像について、大学の内外を含めた大きな議論が巻き起こっており、その渦中に就任した日詰学長の舵取りには世間の注目が集まった。「抱える課題は比喩のものにならないほど大きくなりました。学生が約10,000人、教職員は1,000人以上いますから、その人たちのことを考えていかなければならない。間違った道を歩むわけにはいきません。様々な場面で即断を求められることもあり、祈り求める気持ちで答えを出していかなければいけないですよ。」

新たな重責を果たすとき、教会でのステーク会長や組織の長の経験が大きく役立った。「人間関係の問題が発生したときには、善し悪しではなく、両者の思いを聞き取りながら対立を解決していくことを何度も経験してきました。対立はよくあることです。第3者がどう関わるか、特に責任ある者がどう関わるかは大きな意味を持っています。」だから、傾聴・対話を大事にし、独断ですべてを決めない。いろいろな人の意見や思いを謙虚に聞いた上で、最終的に対話を通して決定する。主が行われる治め方を、大学でも実践する。「世とは異なる方法で真理に到達する道がある」<sup>※2</sup>という自負心を持っている。

苦しいこともあった。「いろいろな考え方の人をどうまとめていくのか。これ以上どうにもならない究極のところまで追い込まれたことがありました。そのようなとき、『これでだめなのか』と思ったらだめでしたね。『何とか主が道を開いてくれるぞ』という思いがありました。だから思いもよらない方法で奇跡が起こりました。奇跡を待ち望まなければいけないと思うんですよね。主が必ず助けて、手を引いて下さる——この言葉に信頼を置き、信仰を持つことが大事です。」今年の青少年のテー

※2—「霊的な基礎に立って俗世の学問に取り組むならば、自然の法則をよく理解できるだけではなく、芸術や言語、テクノロジー、医学、法律、人間の行動について、かつて考えたこともないほど深く理解することができるのです。」L・トム・ペリー「任えることを学ぶ」『リアホナ』2002年5月号、10参照



静岡大学静岡キャンパス

Photo by Amakko from Wikipedia

マ「主を信頼する」を体現した人生を日詰兄弟は歩んできた。

「政策決定のプロセスを深く学びたい」そうした望みからスタートした研究者への道——そして教会や仕事で長としての役割を担うようになり、正しく務めを果たしたいと真摯に望む自分。「主に期待をかけていただいたのかと思います。」将来を見据えた主の介在に、日詰兄弟は感謝する。「すべての人が大事です。一人でも欠けてはいけない、そう心がけているつもりです。ゼミで見てきた学生にも、『あなたは大事な存在なんだよ』と常日頃から伝えてきました。一人一人を愛することがとても大事なことだと思います。」それはイエス・キリストの教えそのものだ。教会の若人と同様に、大きく成長していく可能性を信じ、将来の姿を霊の目を通して見ていくことが大事だと思っている。自分の土台は教会での学びや経験だと実感する日々だ。

### 自分の将来をどのように描くか——望みをもつ、御心を求める、主を信頼する

日詰兄弟はこの4月、入学式の式辞で学生に向けて「4つの期待」を語った。

- ①専門性にとらわれずに学びの幅を広げる
- ②社会の中で起きていることに関心を持つ
- ③良い人間関係を築く努力をする
- ④大学での学びを自分への挑戦の時間とする

これらはすべて、人生から得た教訓だ。教会の若い人に対しては、「学びの幅を広げる」ことに関連して、教会指導者の説教を引用し<sup>※3</sup>、セミナーやインスティテュートなどにも励み、この世の学問だけでなく霊的な学問も併せてバランスよく勉強してほしいと勧める。

そのうえで、「まずは、自分はどうありたいのか、どういう人になりたいのか、何をしたいのかをよく考えて、望みを持つことが大事」だと語る。

信仰から生じて、わたしたちの心の錨になるという望み<sup>※4</sup>があれば、自分で調べる、周りの人に教わるなどをして、容易に次のステップに踏み出すことができる。言い換えれば、望みを持つとしなければ、何も起こらない。人と比べるのではなく、まず自分の心と向き合う。それから、主が



日詰一幸兄弟、学長室にて。写真提供：静岡大学

自分に何を求めておられるのか、主の御心を尋ねる。「主の御心が確信できるならば、もう何も不安に思うことはないですよ。もちろん努力はしなければいけませんし、困難なこともあります。でも主が『善し』としてくださるのであれば、主は手を引いて導いてくださいますから<sup>※5</sup>、あとは主を信頼するということです。主は道をまっすぐにくださいます<sup>※6</sup>。」

しかし望みがあるとはいえ、日詰兄弟の選択した、安定した公務員を辞めて大学・大学院で勉強する進路には、路頭に迷いかねないリスクも含まれていた。「本当にこの選択が正しいかどうか、よく主に尋ね求めた期間がありました。神殿にも何度も参入して導きを受けました。そ

して、正しいという確信を得られたので、様々な思いを振り切ることができました。」

修士課程、博士課程に進むときは、非常に短い期間に多くのことを勉強しなければならなかったが、主が「善し」とされた道なので、主を頼りながら必死で取り組めた。「研究者になることは、くじを引くのごとくとても難しいことだ」と指導教員から言われたほどの厳しい道にも、迷わず挑めた。だからこそ、「望む」確信を得て主を信頼する」ことが大事だという。

### 学問は神の真理に向かっていく 霊的な営み

「教会の若者は、霊的なものの理解に優れています。霊的な眼で学問をしていくと、新しいことを切り開いていくことができます。御霊の教えを大事にして、学びに向かっていくならば、それは神の真理に向かっていく霊的な営みなんですよ」と日詰兄弟は深遠な言葉を投げかける。

修士論文を書いているとき、3か月ほど机の前に張り付いていても、行き詰って前に進めなかったことがあった。「『どうしたらいいんだろう』と悩んだのですが、祈りの気持ちで論文を書き始めると、ふっと思いつくものがあって。そこから大きく書き進め、完成させることができました。そのときの靈感、ひらめきは祈りがなければ得られなかったと思います。」

それ以来、「祈りながら」というスタイルで研究にも仕事にも臨んできた。靈感やひらめきが与えられるのは教会員に限ったことではない。「集中して研究に取り組むとき、真理に近づくこうとすると、誰にでもそのような機会があると思います。」それも神に近づく祈りの一つなのだと日詰兄弟は考える。そのような姿勢で学問に向かい、「聖霊の導きを大事にしながら

※3 — 「忘れてはならないのは、皆さんが関心を持っている教育は、世のためではなく、永遠の命にあずかるための教育です。」ヘンリー・B・アイリング館長

※4 — エテル 12 : 4 参照  
 ※5 — 教義と聖約 112 : 10 参照  
 ※6 — 箴言 3 : 5 - 6 参照



写真提供：静岡大学

ら、自分の学びに向かっていくことが大事なんだと思います。」

望んだ道を選んで得られたものは、「主なくして自分は存在しない、という知識」だと即答する日詰兄弟。「若いときに教会に導かれたことが人生を開き、育ててくれました。信仰生活を続けてこられたこ

とは大きな意味を持っています。教会があつて初めて自分がある。主がいつも見守ってくださるという確信と安心感の中で生きていると感じています。信仰が増し、

主を知る知識が増していきました。」

学長としての残された3年の任期をやり遂げることが当面の目標だ。ある意味で、長年の研究テーマの集大成である「政策決定プロセス」の最前線にいるが、主に頼るならば必ず道が開ける、と、日詰兄弟は確信している。◆

## 今月のNews Headlines

● ニュースルームはこちら!

<https://news-jp.churchofjesuschrist.org>



● 世界仏教徒連盟が表敬訪問——人道支援の協業の機会を継続して探る 3月16日リリース

● 地域会長会が明治神宮を訪問——継続する大切な友好関係を新たにす 3月17日リリース

● 東京神殿、一般公開へ——オープンハウスおよび再奉献の日程が公表される 3月24日リリース

● 日本の末日聖徒、再び集会所に集い始める 3月24日リリース

● YSAコネクトで何が起きているか? 4月13日リリース

※上記リストは日本発信または日本に関連する記事のみです。海外発信記事(日本語)も数多く配信しています。

## 役員の変動

2022年2月23日から4月17日までに管理本部会員統計記録課に通知のあった役員の変動(敬称略)

● 盛岡地方部横手支部  
会長: 宮川 拓也

● 長野地方部上田支部  
会長: 金井田 勝則

● 桐生ステーキ前橋ワード  
ビショップ: 内田 一廣

● 松戸ステーキ我孫子ワード  
ビショップ: 松尾 虎治郎

● 松戸ステーキ松戸第一ワード  
ビショップ: 川内 謙次

● 東京ステーキ坂戸ワード  
ビショップ: 神田 央

● 東京ステーキ中野ワード  
ビショップ: 貫井 齊治

● 東京西ステーキ相模原ワード  
ビショップ: 小島 和彦

● 名古屋東ステーキ豊田ワード  
ビショップ: Frederick A. Gale

● 大阪堺ステーキ河内長野ワード  
ビショップ: 山本 武弘

● 広島ステーキ西条支部  
会長: 菅近 宏幸

## 専任宣教師のご紹介

新型コロナウイルスの世界的流行を受けて、専任宣教師のご紹介は教会公式ウェブサイトで行っています。紹介一覧は以下リンクからPDF形式でダウンロードいただけます。

<https://bit.ly/3buW2J8>



なお、写真の掲載は自己申告制となります。掲載をご希望の方は、宣教師申請書の提出写真とは別途に、画像データまたは写真プリントを電子メールまたは郵送で、リアホナ編集室(メールアドレス/宛先は右に記載)へお送りください。その際、「お名前/ふりがな、召された伝道部名、出身ステーキ/地方部・ワード/支部名、オンライン訓練開始予定日」の情報を必ず添えてください。頂いたお写真をウェブサイトに掲載いたします。どうぞ、よろしくご理解、ご協力を賜りますよう、お願い致します。

リアホナ日本語版編集室

## 皆様の情報をお寄せください

会員の皆様の身近な話題をご紹介します

◎『リアホナ』日本語版編集室

〒106-0047 東京都港区南麻布5-8-8

TEL. 03-4545-3100 (代)

電子メール:

JPNLiahona@churchofjesuschrist.org

◎国際機関誌『リアホナ』のお届け、その他商品に関するお問い合わせ——

教会配送センター

TEL. 03-5668-3391

FAX. 03-5668-3392